

長洲の金魚

夏の情緒をいろいろの夜市…そして子供たちの人気が集まる金魚すくい。風鈴の鳴る縁先で大きく涼しい金魚売りの声…それらはいずれもなつかしい夏の風物詩だ。

九州唯一の金魚の産地、それは玉名郡長洲町である。明治12年に初めた金魚養殖も現在では組合制になり、本格的になってきた。シシガラシ、ランチュウ、アズマニシキなどの高級ものからリュウキン、デメキンなど大衆向きまでさまざま。最近では需要に応じて鯉の養殖もさかんになった。金魚の年間の出荷量は約500万匹。主な出荷先は九州一円。



上・夜市の人だかりは昔も今も金魚売りの店だ。



上・この魚槽には3万匹もの金魚が放たれている。与える餌はマッシュ等の人工餌だ。



上・最近では養鯉もふえてきた。高いのは一匹3万円から5万円もするという。

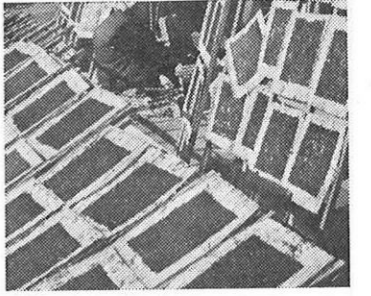


上・出荷風景……ダンボールにつめる時は作業も気をつかう。



上・取引先へ輸送する分は、ビニール袋の中に酸素をいっぱい入れる。

—のり—



城北地区は、九つの漁業協同組合があり、組合員数は、六、八四五名(県の二七%)。地先海面は、干満の差が大きく菊池川尻を中心とする広大な干潟は、のり養殖の適地を形成している。

菊池川尻ののり養殖歴史は古い。のり養殖発祥の地でもあり、またのりの人工採苗技術が確立されるまでは、県内及び近県ののり種苗を一手に供給してきたのであるが、漁船漁業の衰微とともに、さらにのり養殖は、北部鍋、腹赤、長洲、荒尾地区まで急速に普及していった。

県の四十年年度ののり生産量は、約一億三、〇〇〇万枚で、このうち城北地区の生産量は、約九、六〇〇万枚で七四%を占めている。漁場面積は、一、九八九畝、県の三三%。

この地区は、他地区とくらべて菊池川一つといった河川水の流入が少ないため、降雨の少ない時期は、栄養塩類の不足、比重などの関係で幾分色が落ちていますが、今後一層の収量の増大、品質の向

—林業—



上をはかるため「施肥防除船」、養殖経営の規模の拡大、生産性の向上、経営の合理化のため「鋼管パイプ(鋼管くい)消波棚」による漁場造成、のりの円滑な集荷、検査、保蔵により系統出荷体制の確立。それに出荷調整により所得の向上をはかるため「のり保管倉庫」が沿岸漁業構造改善対策事業で設置されている。生産されたのりは、約八〇%が県漁連を通じて共同出荷され、残りの二〇%が浜売りにされているので、この構造改善対策事業でつくられた施設を大いに利用して、全面出荷にもっていくよう努力している。

城北地区の林野面積は、菊池川流域を中心に四万七、〇〇〇畝で、本県全林野面積の一%にあたり、小岱山地帯四、〇〇〇畝を除き良好な林業地帯をつくっている。

この地帯は、熊本、佐賀、福岡各県の消費地に近く、地の利を得て小規模所有

の山林経営で、他産業との複合経営の形で発達している。しかしその反面、経営規模の零細さが近代林業への脱皮のための阻害因子となっていることは見逃がせない。

水資源造成にマッチした造林

玉名地区の一部を除き、他の大部分の地区の人工林率は決して低くないが、将来の発展性から見て水資源の不足が心配される。菊池、玉名地区畑作地帯のかがい用水、荒尾、大牟田、長洲地区の新産都市建設にともなう工業用水、生活用水を考えると、現在の一・三倍一〇億リの水需要が見込まれるので、林業ではこれにマッチした保安林の整備と造林の推進が望まれている。

保安林の整備では、現有保安林二、〇〇〇畝を昭和四十年年度から五十年計画で一、八〇〇畝にするよう計画し、すでに実践段階に入っている。現在、計画は順調に進んでいるが、造林の推進は、労務事情や果樹等の樹園地造成ともからみ課題を提起している。

特殊林産物の振興

この地区は、くり、しいたけ、竹などの生産が多い。くりは県下全生産額の三三%、竹は二八%、しいたけは一四%を占めている。今後、この地域の特性たる消費地に近いという地利を活かし、質量の向上拡大をはかり農家所得の向上に力が注がれている。

—畜産—



城北地区は、酪農、肉牛、肉豚、鶏とも経営の改善合理化が進み、総合的に優れた経営が行なわれている。なかでも、家畜の改良増殖の進捗は早く、本県における種畜の供給地帯となっている。

将来の構想としては、阿蘇を含む周辺の草地地帯を重点地域として、特に大規模草地改良事業を中心とした、肉牛、酪農の振興を強力に推進していく方針である。

内容的には、菊池、鹿本、阿蘇を中心とした乳用牛と肉用牛、菊池、鹿本両郡の肉豚、さらに鹿本、玉名を重点地域とした鶏と、それぞれの主産地の形成を進めながら、生産費の低減と経営安定のために、草地改良事業などの、いわゆる自給飼料基盤の確立をはかる。

さらに、畜産経営の方向としては、多頭羽飼育の促進、協業化共同化及び省力化の促進に力を入れ、幹線道路沿いの家畜及び畜産物の近代的濃密生産団地として、その発展が期待されている。